



# 精進



R2.2.27



## バトン（襷）を確実に引き継ぐ

～ 新たな鹿工の伝統を繋ぐ ～



3年生は卒業式まであと5日、1、2年生は学年末考査も終了し今年度のまとめをする時となりました。バトンランナーに例えると、3年生はバトンレーンに入り、いよいよ後輩達にバトンを渡すときです。それぞれの学年での準備はできていますか。「鹿工ロイヤルティ」（鹿工の絆）を意識して、丁寧に確実に行いましょう。3年生は更なる広い環境での新しいスタートとなります。鹿工での3年間で基に、「失敗を避ける」のではなく「失敗から学ぶ」姿勢を忘れずに、何事にも「挑む」気持ちで前に進んでください。1、2年生は鹿工の112年目のページを彩ることになります。その準備として基本に立ち返り、自分自身を見つめ直して足下を固め、よいスタートが切れるよう準備をしてください。常に謙虚な姿勢で「何のため」という目的を明確にして皆で精進しよう。



### 【3年生】

母校が将来どうあって欲しいかを見本を後輩達に示すと共に、お世話になった人、物に感謝の気持ちをもとう。



鹿工

### 【2年生】

いよいよ君達が核となつての活躍が必要になるときです。バトンをしっかり受け取り、来年度の「進路実現」に向け意識を高めてください。



### 【1年生】

新年度になると、後輩達が入学してきます。「凡事徹底」を軸に、あらゆる面でスキルアップを図って良き先輩になってください。



「企業戦略論」(J.B.バニ著)という本の内容を、君達に置き換えて伝えます。

【目的】は、自分自身の価値を高め、社会において物や道具ではなく、自分自身を「財産」とするためです。

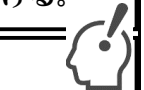


### ① 価値 (Value) があるか? <良い面を、発展させながら伸ばす>

・まずは、当たり前のことを誰にも負けないくらい一所懸命やり続ける。(凡事徹底) 挨拶、返事、清掃作業をはじめ、決められたルールはその意味も考え、しっかり守る。自身の価値を決めるのは自分ではなく他人です。常に謙虚な姿勢で精進を心掛ける。

### ② 希少性 (Rarity) があるか?

・誰でもできることを、付加価値を付けながら実行する。そのためにも「気づく」習慣を意識する<目配り、気配り、思いやり>。周りに対する配慮(登下校時含む)



### ③ 真似が難しい (Inimitability) か?

・上記①、②に基づいて「固有の強み」をもち、頼られる「人財」になってください。その基本は「日常生活」です。手を抜かず「いいかげんなことをしない」。



### ④ 組織的 (Organization) な仕組みがあるか?

・一人でできることなど殆どありません。相談や報告、縦横の連携などを怠らない。自分と同じ人は二人といません。色々な人の考えにも耳を傾け、短気を起こさずに前向きな議論ができる人になってください。常に謙虚な姿勢と、学ぶ姿勢をもち続ける。



### 《いいかげんなことをしない生徒たれ》

「まあ いいか」で紙はどんどん減っていく。  
逆に、紙を増やして積み上げる生活をしよう!



「まあ いいか」の行動によって紙が1枚、また1枚と減っていきます。多少減っても気づきませんが半年、1年と経ちかなりの量が減ると誰もが気づきます。逆に付加価値を付ける行動をすると1枚、また1枚と増えていきます。それが上記の①～④に繋がり自分の財産となるのです。何事にも「何のため」という目的をよく考え、せっかくやるなら紙を増やしていく自分ならではの行動を心掛けてください。